

## 第5章 地域子ども・子育て支援事業の実績と評価

## 地域子ども・子育て支援事業の評価基準について

第5章においては、計画に記載している各年度の目標値・推計値に対する事業の進捗を年度ごとに確認し、下記の評価基準に当てはめて評価する。

「計画上の目標値(確保方策)」及び「実際のニーズ量」に対して評価する。

## &lt;進捗状況に対する評価&gt;

- A 評価 … 各年度の目標を達成(○)かつ実際のニーズ量も達成(○)  
 B 評価 … 各年度の目標は達成している(○)が、実際のニーズ量は未達成(×)  
 B 評価 … 各年度の目標は達成していない(×)が、実際のニーズ量は達成(○)  
 C 評価 … 各年度の目標を達成しておらず(×)、実際のニーズ量も未達成(×)

## ■補足

評価にあたっては、原則として上記の基準に基づき、目標値を達成できたかどうかを評価する。ただし、目標値と実際のニーズ量に乖離がある場合を想定し、毎年各事業においてPDCAを行いながら、評価時点で実態に合った評価を行う。

| No. | 事業名                 | 担当課        | 事業内容   | 指標   | 令和5年度<br>目標<br>(確保方策) | 実際の<br>ニーズ量 | 実績   | 令和5年度実績・取組内容  | 進捗評価   | 課題と対応策<br>(目標値との乖離理由など)   |  |
|-----|---------------------|------------|--|------|-----------------------|-------------|------|---|--|---|--|
| 1   | 時間外保育事業<br>(延長保育事業) | ほいく課       | 通常保育の利用者に対し、<br>通常保育時間を超過して延<br>長して保育を行う。                                    | 利用人数 | 523人                  | 519人        | 519人 | 実利用者数:868人(うち18時以降<br>利用者519人)<br>利用延べ人数:5,188人<br>実施園:27園<br>(市立保育所2園、市立認定こども園<br>2園、私立保育園11園、私立認定こ<br>ども園6園、私立小規模保育事業所6<br>園) | B  | 通常の保育時間を超過して延長して保<br>育を行うことで、保護者の就労状況<br>等に柔軟に対応する形で保育を提供<br>することができた。<br>今後もニーズの把握を行い、事業の<br>充実に努める。 |  |
| 2   | 放課後児童健全<br>育成事業     | 青少年育成<br>課 | 保護者の就労等のため、放<br>課後家庭での保護を受ける<br>ことのできない小学生を対<br>象に適切な遊びと生活の場<br>を与えて健全育成を図る。 | 利用人数 | 低                     | 658人        | 661人 | 661人  | 全体入会者数811人(令和5年4月1<br>日時点)<br>・8校のうち4校を継続して民間事業<br>者に委託した。<br>・岩園小学校に1学級増設し、校区内<br>で待機児童を出さない運営を行っ<br>た。<br>・精道小学校敷地にプレハブ施設を増<br>築することを決定したことで、受入児<br>童数の増加を図った。 | A   | 計画値より低学年は増加し、高学年<br>は減少したため、総人数は大きな差<br>は生じなかったため、随時計画との<br>差を確認しながら、今後も、待機児童<br>を出さないよう、対応していく。 |
|     |                     |            |  | 高    | 174人                  | 150人        | 150人 | B   |  |   |  |

## 第5章 地域子ども・子育て支援事業の実績と評価

| No. | 事業名                               | 担当課                                       | 事業内容   | 指標    | 令和5年度<br>目標<br>(確保方策) | 実際の<br>ニーズ量 | 実績   | 令和5年度実績・取組内容  | 進捗評価 | 課題と対応策<br>(目標値との乖離理由など)   |
|-----|-----------------------------------|---|--|-------|-----------------------|-------------|------|---|------|---|
| 3   | 子育て短期支援事業<br>(子育て家庭<br>ショートステイ事業) | こども家庭・<br>保健センター<br>(こども家庭<br>総合支援担<br>当) | 保護者の仕事、疾病、出産等の理由で子どもの養育が一時的に困難となる場合等に、児童福祉施設において一定期間、養育及び保護を行う。                        | 実施か所数 | 12か所                  | —           | 14か所 | 実施か所数:14か所<br>利用実績:5か所<br>利用人数(延べ):12人<br>年間利用日数:54日  | A    | 施設でのショートステイの受け入れが非常に難しいことから、令和4年7月よりショートステイの受け入れ先に里親を加えた。<br>制度についての周知があまり進まず、利用はそれほど増加していないが、里親宅でショートステイを利用した家庭が何度も利用を希望されるなど、里親の利用については良好であると思われる。<br>引き続き、制度の周知を図り、必要とされている家庭が利用しやすいように情報提供を行っていく。 |
| 4   | 地域子育て支援<br>拠点事業<br>(つどいの広場<br>事業) | こども家庭・<br>保健センター<br>(こども家庭<br>総合支援担<br>当) | 子育て支援サービス等に関する情報提供、相談及び助言等、子育ての総合窓口を設置するとともに、子育て中の親子が気軽に遊べる場(「むくむく」「がくがく」「もこもこ」)を提供する。 | 実施か所数 | 4か所                   | —           | 6か所  | 実施か所数:直営4か所、委託2か所<br>・「むくむく」(子育てセンター)<br>開設日数:241日<br>利用延べ人数:14,104人<br>・「もこもこ」(上宮川文化センター)<br>実施日数:46日<br>利用延べ人数:889人<br>・「プチアンジュ」(岩園幼稚園)<br>実施日数:47日<br>利用延べ人数:1072人<br>・「バンビ」(西蔵こども園)<br>実施日数:194日<br>利用延べ人数:4,707人<br>・「ひとしお」(しおさいこども園)<br>開設日数:241日<br>利用延べ人数:4019人<br>・「キョラククラブ」(浜風あすのこども園)<br>開設日数:185日<br>利用延べ人数:833人<br>その他<br>・「あそぼう会」(子育てセンター)<br>利用延べ人数:1009人<br>・「オンライン事業」(子育てセンター)<br>実施日数:16日<br>利用延べ人数:95人 | A    | 利用人数は一定の確保がなされてきたものの、リピーターも多く、新規の利用者への広がりや課題と考えており、健診のタイミングでのひろば事業のご案内などの周知に努めることで、新規利用者の拡大に努める。  |

## 第5章 地域子ども・子育て支援事業の実績と評価

| No. | 事業名  | 担当課   | 事業内容  | 指標       |      | 令和5年度<br>目標<br>(確保方策) | 実際の<br>ニーズ量 | 実績      | 令和5年度実績・取組内容   | 進捗評価 | 課題と対応策<br>(目標値との乖離理由など)   |
|-----|--|---|---|----------|------|-----------------------|-------------|---------|--|------|---|
|     |  |   |   | 3歳       | 4,5歳 |                       |             |         |  |      |   |
| 5-1 | 幼稚園における<br>一時預かり事業                             | 管理課<br>子ども政策課<br>ほいく課                                 | 園児の心身の健全な発達を<br>図るとともに、保護者の子<br>育てを支援するため、幼稚<br>園において在園児を対象と<br>して教育時間後等に保育を<br>行う。                             | 利用<br>人数 | 3歳   | 16,533人               | 7,724人      | 7,724人  | 利用延べ人数:7,724人<br>【管理課】<br>・市立幼稚園:1園(岩園幼稚園3歳)<br>利用延べ人数:591人<br>【ほいく課】<br>・市立認定こども園幼稚園部:2園<br>利用延べ人数:1,935人<br>・私立認定こども園幼稚園部:4園<br>利用延べ人数:1,480人<br>・市外施設 利用延べ人数:109人<br>【こども政策課】<br>・私立幼稚園:2園<br>利用延べ人数:1,676人<br>・私立認定こども園幼稚園部:1園<br>利用延べ人数:449人<br>・市外施設 利用延べ人数:1,484人 | B    | 市立幼稚園では、令和3年度より、岩園<br>幼稚園で3年保育を試験的に始め、令和<br>5年度より本格実施を行った。3歳児の<br>預かり保育も引き続き実施している。<br>令和5年度は前年度に比べクラス人数が<br>少なかったため、利用延べ人数は減少し<br>ているが、令和6年度はクラス人数が上<br>限の25人に増加したため、利用者数の<br>増加が見込まれる。<br><br>また、市立認定こども園では昨年度と比<br>べて延べ利用者数が増え、私立認定こど<br>も園では延べ利用者数が減少した。今後<br>もニーズの把握を行い、事業の充実に努<br>める。 |
|     |  |   |   | 利用<br>人数 | 4,5歳 | 40,156人               | 25,776人     | 25,776人 | 利用延べ人数:25,776人<br>【管理課】<br>・市立幼稚園:5園<br>利用延べ人数:10,382人<br>【ほいく課】<br>・市立認定こども園幼稚園部:2園<br>利用延べ人数:3,468人<br>・私立認定こども園幼稚園部:5園<br>利用延べ人数:3,250人<br>・市外施設 利用延べ人数:1,518人<br>【こども政策課】<br>・私立幼稚園:2園<br>利用延べ人数:2,020人<br>・私立認定こども園幼稚園部:1園<br>利用延べ人数:1,245人<br>・市外施設 利用延べ人数:3,893人  | B    | 市立幼稚園の平均利用者数は、前年度と<br>大きく変わらず横ばいであるため、一定<br>数の利用ニーズがあることが認められ<br>る。<br><br>また、市立認定こども園、私立認定こ<br>ども園とも、昨年度に比べて延べ利用<br>者数が減少した。今後もニーズの把握を<br>行い、事業の充実に努める。  |
| 5-2 | 保育所・ファミ<br>リ-サポート・<br>センター等に<br>おける一時預かり<br>事業 | ほいく課<br><br>こども家庭・<br>保健センター<br>(こども家庭<br>総合支援担<br>当) | 保護者の仕事、疾病、出産、<br>冠婚葬祭等の緊急かつ一時<br>的な理由で家庭での保育が<br>困難となる場合に保育所で<br>預かり保育を行ったり、ファミ<br>リ-サポート・センター事<br>業により子どもを預かる。 | 利用<br>人数 | 保    | 2,993人                | 2,018人      | 2,018人  | 利用延べ人数:2,018人<br>実施園:6園<br>市立認定こども園1園、私立保育所4園、<br>私立小規模保育事業所1園で実施<br>(西藏こども園、山手夢保育園、夢咲保育<br>園、茶屋保育園、はなえみ保育園、HANA<br>保育園)   | B    | 昨年度に比べて延べ利用数が増加した。<br>目標値に対して乖離が生じているが、施<br>設整備や認可外保育施設の活用により、<br>待機者は一定解消されている。  |
|     |  |   |   | 利用<br>人数 | ファ   | 2,937人                | 2,867人      | 2,867人  | 利用延べ人数:2,867人<br><br>依頼会員:833人<br>提供会員:344人<br>両方会員:34人<br>合計:1211人  | B    | 感染防止対策をして事業を継続して実施<br>し、講習等も開催方法を工夫して実施す<br>るなど質の向上にも努めた。在宅勤務等<br>働き方に変化が生じ、通勤時間の減少な<br>どで保育所や学童保育の終了後の預か<br>りなど減少が見られている。今後も事業<br>の周知啓発に努めていく。   |
|     |  |   |   | 合計       |      | 5,930人                | 4,885人      | 4,885人  |  |      |   |

## 第5章 地域子ども・子育て支援事業の実績と評価

| No. | 事業名                         | 担当課                                       | 事業内容   | 指標    | 令和5年度<br>目標<br>(確保方策) | 実際の<br>二<br>ーズ量 | 実績  | 令和5年度実績・取組内容  | 進捗評価                                      | 課題と対応策<br>(目標値との乖離理由など)   |  |
|-----|-----------------------------|---|--|-------|-----------------------|-----------------|---|---|---|---|--|
| 6   | 病児保育事業<br>(病児・病後児保<br>育事業)  | ほいく課                                      | 病気や病気回復期の子ども<br>で、保護者の就労等の理由<br>で、保護者が保育できない<br>際に、保育施設で子どもを<br>預かる。   | 実施か所数 | 2か所                   | -               | 2か所   | 実施か所数:2か所<br>(市立芦屋病院内、市立精道こども園<br>内)<br>利用延べ人数:621人<br>(病児保育621人, 病後児保育0人)                                    | A   | 市立芦屋病院内、市立認定こども園<br>内で事業を実施しており、昨年度よ<br>り延べ利用者数が増加した。<br>今後も、事業の周知や利便性の向上<br>等に努めていく。   |  |
| 7   | 子育て援助活動<br>支援事業<br>(小学生)    | こども家庭・<br>保健センター<br>(こども家庭<br>総合支援担<br>当) | 保護者の仕事、疾病、出産、<br>冠婚葬祭等の緊急かつ一時<br>的な理由で家庭での保育が<br>困難となる場合に、育児の<br>援助を依頼したい人と協力<br>したい人が会員となって一<br>時的、臨時的に有償で子ど<br>もを自宅で預かる相互援助<br>活動を行う。                      | 利用人数  | 3,260人                | 1,768人          | 1,768人  | 利用延べ人数:1,768人<br><br>依頼会員:833人<br>提供会員:344人<br>両方会員:34人<br>合計:1211人   | B   | 感染防止対策をして事業を継続して<br>実施し、講習等も開催方法を工夫し<br>て実施するなど質の向上にも努め<br>た。在宅勤務等働き方に変化が生じ、<br>通勤時間の減少などで保育所や学童<br>保育の終了後の預かりなど減少が見<br>られている。今後も事業の周知啓発<br>に努めていく。 |  |
| 8   | 利用者支援事業                     | ほいく課                                      | 「子育てコーディネーター」<br>として認定した支援者が、地<br>域における様々な子育て支<br>援サービスの紹介を行ったり、<br>子育てに関する相談を受け<br>専門の施設へ繋いだりする<br>役割を担い、市民(利用者)<br>が多岐にわたる子育て支<br>援サービスを円滑に利用<br>できるようにする。 | 実施か所数 | 特定型                   | 1か所             | -   | 1か所   | 実施か所数:1か所(市役所)                            | A   | ほいく課窓口にて保育所の入所相談<br>を中心に、子育て支援に係るサービ<br>スの紹介を行う。 |
|     |                             | こども家庭・<br>保健センター                          |  | 母子保健型 | 1か所                   | 1か所             | 妊婦やパートナーに対して遊び場を<br>案内し、育児の準備性を高める支援<br>を行った。<br>遊び場事業に週2回定期的に参加し、<br>気軽に相談できる機会を設けた。<br>相談件数:70件 | A   | 今後も継続して相談事業に取り組<br>み、切れ目のない支援を遂行してい<br>く。 |   |  |
| 9   | 妊婦健康診査<br>(妊婦健康診査<br>費助成事業) | こども家庭・<br>保健センター                          | 妊娠中の健康診査の受診を<br>促進し母体や胎児の健康を<br>確保するため、妊婦健康診<br>査費の助成を行う。  | 利用人数  | 867人 <sup>※1</sup>    | -               | 826人  | 妊娠届出数:515人<br>妊婦健康診査助成券利用人数:726<br>人<br>償還払い人数:100人<br>【妊婦健康診査助成金額】<br>5,000円×14枚<br>10,000円×1枚<br>2,000円×13枚 | B   | 出生数の減少により、妊婦健診受診<br>券利用者、償還払いは減少してい<br>る。<br>妊娠届があった方には妊婦健康診査<br>を確実に周知していく。  |  |

No.9は、もともと計画書において確保すべき【令和5年度目標】を設定していないため、下記のとおり設定します。

【※1】No.9「妊婦健康診査」については、令和5年度目標＝「推計値:867人」とします。

## 第5章 地域子ども・子育て支援事業の実績と評価

| No. | 事業名                        | 担当課                           | 事業内容  | 指標   | 令和5年度<br>目標<br>(確保方策) | 実際の<br>ニーズ量 | 実績   | 令和5年度実績・取組内容   | 進捗評価 | 課題と対応策<br>(目標値との乖離理由など)   |
|-----|----------------------------|-------------------------------|---|------|-----------------------|-------------|------|--|------|---|
| 10  | 乳児家庭全戸訪問事業                 | こども家庭・保健センター                  | 生後4か月までの乳児のいるすべての家庭を訪問し、子育て支援に関する情報提供や養育環境等の把握を行う。  | 訪問件数 | 378件※2                | 471件        | 471件 | ・対象戸数:491<br>・訪問数:471<br>・訪問率:95.9%<br>・未把握理由の内訳:転出 14、希望なし 連絡つかず 2、4か月児健診で把握4                         | A    | 訪問件数は増加しており、継続して未訪問者についても追跡し、養育環境を把握している。専門職が訪問・養育環境を把握することで、育児情報の提供、保健相談を行うことができ、育児支援につながっている。 |
| 11  | 養育支援訪問事業等<br>(育児支援家庭訪問事業)  | こども家庭・保健センター<br>(こども家庭総合支援担当) | 子どもの養育について支援が必要であるにもかかわらず、積極的に自ら支援を求めていくことが困難な家庭で、支援が必要と認められた家庭に対し、保健師、助産師、ホームヘルパー等を派遣して育児指導、育児相談や簡単な育児・家事の援助を行う。 | 利用回数 | 100回※3                | 240回        | 240回 | 延べ利用回数:240回<br>【ヘルパー派遣】<br>利用人数(実人員):13人<br>年間延べ利用日数:113日<br>【助産師派遣】<br>利用人数(実人員):22人<br>年間延べ利用日数:127日 | A    | 令和4年7月より利用対象者の要件や利用上限回数を変更し、幅広い利用に繋げられるようにしたため、利用回数が増加した。引き続き、制度の情報提供を行い必要とされる家庭にサービスが届くように努める。 |
| 12  | 実費徴収に係る補足給付を行う事業           | ほいく課                          | 実費徴収または上乘せ徴収された日用品・文房具等必要な物品購入に要する費用、行事参加に要する費用等の低所得者の負担軽減を図る。  | -    | -                     | -           | 280人 | 利用者人数:237人   | A    | 保育所・認定こども園・幼稚園等の対象者に対して、情報提供を行い、制度の周知に努める。  |
|     |                            | 管理課                           |   |      |                       |             |      | 利用者人数:43人<br>・市立幼稚園:33人<br>・私立幼稚園:10人  | A    | 保育所・認定こども園・幼稚園等の対象者に対して、情報提供を行い、制度の周知に努める。  |
| 13  | 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業 | ほいく課                          | 新規事業者が事業を円滑に運営していけるよう、支援・相談・助言等を行う。   | -    | -                     | -           | 56回  | 巡回訪問回数:56回<br>認定こども園特別支援教育対象人数:34人<br>感染症流行時期においては、訪問予定日時を園と協議し、感染対策を講じて巡回訪問を行った。                      | A    | 引き続き、感染対策を講じながら、予定回数をすべて実施できるようにする。   |

No.10～No.13は、もともと計画書において確保すべき【令和4年度目標】を設定していないため、下記のとおり設定します。

[※2]No.10「乳児家庭全戸訪問事業」については、令和5年度目標＝「推計値:378件」とします。

[※3]No.11「養育支援訪問事業等」については、希望して利用できるサービスではないため、令和5年度目標として「推計値:100回」とします。

[※4]No.12「実費徴収に係る補足給付を行う事業」及びNo.13「多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業」については、目標値を設定する事業になじまないため、数値目標は設定しておりません。